

未来を開く

長井市立長井北中学校

No74 令和4年 1月20日

頑張っています！生徒会(現・次期)役員

生徒の活動が光っている。新たな視点で「歴史」と「伝統」をつくってほしい。

今週の木曜日、20日は二十四節気の「大寒(だいかん)」。

「大寒」とは、「冬の最後を締めくくる約半月」をいいます。毎年、だいたい1月20日から2月3日ころです。

大寒の前の半月は「小寒(しょうかん)」。1月5日から19日ころ。大寒と小寒を合わせて、「寒の内(かんのうち)」と呼び、1年のうちでもっとも寒い時期を表します。

大寒が終わると、「立春」。春の始まりです。季節はこのようにして過ぎていきます。



あいさつ運動後のミーティング

さて、学校では生徒会「現・新」役員が頑張っています。

まもなく、「あいさつ運動」のバトンを3年生から1・2年生が引き継ぐことになっています。



応援委員会のあいさつ運動と除雪作業

「元気、笑顔、会釈、自分から」のあいさつをめざして「伝統」を受け継ごうと一生懸命です。これからもさまざまな「活動」に積極的に取り組んで、生活の改善や向上につないでいてほしいと願っています。

また、応援委員会ではあいさつ運動をしながらの除雪活動に余念がありません。

「してみせて、言って聞かせて、させてみる」(上杉鷹山)。3年生が自ら毎日先頭に立って示し、1・2年生がその姿を追って活動しています。「北風」活動が継承されていく現場を目の当たりにし、感激の毎日です。

昇降口の中では、1学年協議会があいさつ運動を展開しています。「今度は先輩として、新1年生に姿で示せるよう、3学期は準備していきたい。」

2学期の終業式で、1年生の菅野 奏さんが述べた言葉です。活動として示している1年生の意気込みが感じられます。



1学年協議会によるあいさつ運動

「海外たすけあい募金」報告

令和4年度新生徒会役員による、「海外たすけあい募金」活動。本部からも感謝の言葉が寄せられた。

昨年(2021年)の12月22日(水)から24日(金)まで「海外たすけあい募金」活動が行われました。

以前は、新生徒会役員の生徒が南北中学校合同で、市内のスーパーヤマザワさん前で行ってききましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、それぞれの学校で、全校生と保護者の皆様方にご協力をお願いしました。

ご協力いただいた結果については、生徒会の「企画会だより」でもお

伝えたとおり、3日間の総計が33,774円でした。お金は全額日本赤十字社山形県支部にお送りしました。

ご理解ならびにご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

なお、日本赤十字社山形県支部より感謝のお手紙が届いていますので右に掲載します。



新年あけましておめでとうございます。早々に寒波の到来で厚い雪に覆われた景色になりました。皆さまの学校や地域はいかがでしょう。

このたびは、生徒会の皆さんで集めていただいたたくさんの募金活動をすすめていただきありがとうございました。日本赤十字社山形県支部で確かに受け取り海外の支援先にお届けするよう手続きをいたします。

新型コロナウイルスという災害に世界中の人々が遭遇し丸2年が経過していますが、いまだにがまんと努力がつづいています。長井北中学校の皆さんも多くの努力と工夫を続けておられるかと思います。そのような中で皆さんが、世界のさまざまな方々を思い、募金活動に取り組まれたことはとても尊く、みなさんにとって誇るべき活動だと思います。皆さんのやさしさに触れたとき、多くの人々が皆さんから勇気をいただくことになると思います。貴校を訪問し、ご担当の先生から封筒や募金箱いっぱい募金を拝見した時皆さんの誠意と熱気を感じ感動いたしました。

どうぞ、この足あとを大切にしながら、毎日の学校生活での健やかな暮らしにつなげてくださいますようお願いいたします。笑顔とやさしさに満ちた長井北中学校の毎日を送られることを確信いたします。皆さんが大きな希望をもって新年を迎え、輝きに満ちた貴校のはじまりを確信しご祈念申し上げます。

2022年は日本の青少年赤十字が発足して100周年になります。皆様のご協力によって、より一層思いやりが広がる意義のある活動につなげていく機会になればと考えております。記念の缶バッジをご送付いたします。ご活用ください。

